

誠美だより

10

2014/OCT

誠美保育園



「はとぽっぽ体操」の謎

あれほど明るかった夕暮れが、気がつくくと夕闇に取り込まれている事に気づくこの時期。日中の園内は、運動会一色・ともならないのが、誠美のこの季節であります。ひとり一人が充実した毎日を過ごしていたら、いつのまにやら運動会がやってきた、そんな9月を過ごしていたのならないのですが、とはいえその裏で、運動会に向け、職員たちはそれなりに思いを巡らしていたりはするのですが。

先日、園庭から運動会で使われるとおぼしき曲が聞こえてきました。曲が進むにつれ、何か記憶が揺さぶられる感覚が。それは幼少期、自分もこの曲で踊っていた記憶だとわかってきました。

この曲は、運動会の最後、保護者の方にも参加頂く「はとぽっぽ体操」です。昭和の香り漂う独特の旋律に、辻褄の合わない言葉が入れ替わり登場する、奇妙で前衛的な歌詞。子ども心に、何とも言

えない不思議な気持ちになった事を思い出します。

ぽっぽっぽっぽっぽ

はとぽっぽ 羽を広げて降りて来い
あっち向きこっち向き 首振り人形

お空を見上げる可愛い人形

キューピーさん キューピーさん

バンザイ手をふれ 胸をはれ

パッと見てパッと見て

後ろはどなた？

この後も不思議な歌詞が続いていくのですが、これを作詞したのは、子どもの運動・リズム・歌あそびの教育者、戸倉ハル氏。まず体操の動作が先にあつて、子どもたちに親しみを持って覚えてもらうため、その動きを表現するような歌詞を当てはめていったのだなど、うん十年たつてようやく合点がいきました。

作曲は、今のラジオ体操第一を作曲した服部正氏。また、戸倉ハル氏は先代のラジオ体操の振り付けを担当した事もあつたそうです。つまり由緒正しき「リズム体操」の大御所コンビによる作品と

いうこともわかりました。

昭和30年代に作られたこの曲は、今でも全国の保育園・幼稚園で親しまれているようです。当園でもご多分に漏れず、テンポの速い、リズムカルな今風の楽曲が導入されることも多いのですが、こうした昔ながらの曲も拾われている事に何やらほっとするのです。

海外から「日本は伝統と科学技術が融合した国」と評されることがあります。全てを置き換えず、そつと残して受け渡していく物。こうしたささやかな行為のひとつに、日本の子育ての「心持ち」も含まれているような気がします。

園長 折井誠司

大規模修繕を計画中！

平成元年に建てられた園舎も、今年で26年。建物だけを見れば、この10年ほどはあちらこちらを「お手当て」する年月でもありました。来年度あたりには大掛かりな修繕をと、八王子市とも協議を進

めていたところだったのですが、この度、少し前倒しをして、年度末から取りかか

る事が決まりました。

修繕の概要としては、
・壁や天井等、経年劣化をした箇所の補修

・照明・手洗い等、老朽化した設備の交換や新設・移動

・ホールへの冷房機器の設置

・2階会議室を保育室へと改修

・敷地東側、遊歩道に面した場所に保育室と子育て支援スペースを増築などを予定しております。

私たちにとって修繕とは、「現状回復」

ではなく「機能向上」を目指すものです。

保育室の面積を広げ、子どもたちの新たな動線を生み出し、日々の活動の展開に、そして育ちを後押しする生活環境へ大きく貢献できるものに仕上げたい、そんな思いで計画を練っております。

詳細が決まり次第、随時ご連絡してまいります。作業が始まった折には、ご不便をお掛けする事も度々となると思われま

職員異動のお知らせ

10月1日より、新たに、

が常勤職員としてかぜグ

ループを担当します。

- 編集 誠美保育園
- 編集人 折井誠司
- 発行人 折井誠司
- 印刷所 誠美保育園
- 発行所 社会福祉法人 誠美福祉会

〒192-0364 東京都八王子市南大沢5-1-2

電話 042-675-1551

ファックス 042-677-5643

E-mail seibi@hokken.jp

http://hokken.jp/